

きゅうがめら! TOKKO PRIDE! TOKKO BRAND!

徳之島高校通信

令和4年度
1・2月号
196号

～徳之島高校から「きゅうがめら! (こんにちは)」～

青い海・緑豊かな大地・赤く輝く太陽の下、イキイキと輝く徳高生の姿をPICKUPしました。

3年生 入試に向けて日々是精進

1月14日、15日に、16人の3年生が、大島高校にて「大学入試共通テスト」を受験してきました。このテストは、国公立大学を始めとし、多くの大学の一般受験などで利用するためにも重要な試験です。希望する大学に合格するために、受験生は、この日に向けて寸暇を惜しんで勉強に取り組んできました。このテストの結果を踏まえ、さらなる努力を重ねながら合格を掴むために現在も日々学習に励んでいます。「徳高PRIDE」を胸に、最後まで諦めずに頑張ろう!



奄美図書館で直前まで学習に励む姿

生徒探究発表会 & 総合学科学習発表会

年度末になり、「総合的な探究の時間」と「総合学科」の発表会がそれぞれ実施されました。

総探の「生徒探究発表会」では、本校の1・2年生、樟南第二高校の代表生徒、大島養護の徳之島支援教室の生徒が参加し、ステージと展示の2つの部門で開催されました。徳之島が抱える課題を高校生が主体的に協働しながら解決策を見いだす活動がまとめられたもので、高校生ならではの視点もあり、来場された保護者は、興味をもって発表を聞いたり、展示物をじっくり見たりしてくださいました。

「総合学科発表会」では、総合学科(生物生産系列、情報ビジネス系列、生活科学系列)の3年生が主体となり、1年間の課題研究の成果発表をしました。地域が抱える課題解決に向けて、地域の方々と協力をいただき、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいる様子が覗えました。また、生活科学系列で作られた作品等も並んでいました。



↑生徒探究発表会の様子



↑生活科学学科が作った作品

第16回 校内持久走大会

2月2日(木)に第16回校内持久走大会が行われました。1・2年生、男子74人、女子64人と、支援教室の4人の生徒が参加し、アップダウンの激しいコースを全員が一生懸命走りきりました。また、3年生はボランティアで運営に協力してくれました。

男女上位3人は以下の通りです。

男子			女子		
1位	2-2	中江 流星 (27:38)	1-1	田中 瑠海 (22:02)	
2位	2-3	豊原 大地 (28:58)	1-3	富本 希輝 (22:22)	
3位	2-3	吉村 海王 (29:50)	2-1	杉山 日咲 (22:28)	



教科の紹介 ○ 総合学科 生物生産系列 編 ○

総合学科の生物生産系列では、伊仙農場でミニトマトやピーマン、ナスなどの施設野菜(ハウス栽培)、露地野菜の栽培をはじめ、季節の花の苗やハーブなどを育てたり、温暖な気候を生かしたマンゴーを栽培したりします。また、食品加工の分野では、パンやジェノベーゼソース、豚味噌を製造し、食品製造についての知識や技術を身に付けます。農業機械の分野では、管理機やトラクタなどの運転実習やアーク溶接について学びます。

2年生では、農業に関する基本的な管理作業や研修を通して徳之島の農業について理解を深めたり、日本農業技術検定の取得や危険物取扱者試験など、検定取得に向けて取り組んだりしています。

3年生になると、野菜班、草花班の2班に分かれてプロジェクト学習に取り組みます。今年度は、地域企業と連携して新商品開発の開発に取り組んだり、徳之島が抱える問題に焦点をあてて、農業の力でそういった問題を解決できないかを考え研究したりしました。



校長雑談 ～徳高プライド～ Vol.9 暗夜一燈

一燈を提げて暗夜を行く 暗夜を憂うことなかれ ただ一燈を頼め

一燈…提灯、今で言う懐中電灯

【南州手抄言志録(なんしゅうしゅしょうげんしろく)から抜粋】

「南州手抄言志録」とは、西郷隆盛が修養の資としていた「言志四録」という随想録から抜粋した書物のことです。「言志四録」とは江戸時代末期の儒学者、佐藤一斎が著した四つの書物の総称で、主な内容は、学問修養の心得、倫理道徳の規範、指導者論、処世の教訓などです。この書物を西郷さんは二度目の流罪先である沖永良部島で初めて読み、その後の西郷さんの生き方に大きく影響したそうです。上記の文の意味ですが、人生行路のうちには暗い夜道の一つの灯りだけを持って行くようなことがあるけれども、暗夜を心配することなく、ただその手にある一つの灯り即ち自分の強い意思を頼りにしなさい、ということです。西郷さんも己の中の強烈な意思をもとに、新しい時代を切り開く維新の道を突き進んでいったのでしょうか。

皆さんはこれから本校でいろんなことを勉強して、今後の生活の糧をどうするのかなどを真剣に考え、自分なりの生き方・行動の指針等を決めるはずです。私は、西郷さんの言うとおり、自分を信じて自分の意思を頼りに生きていってほしいなと思っています。もし、生きていく中で疲れたときには、友人や親を頼って自分の心を癒やして下さい。

「暗夜一燈」自分を信じて進め! 未来へ!

そんなカッコいい徳高生に育てば、きっと今の中学生も徳高に入りたいと思ってくれるはず。これからは後輩達が絶対入りたいと思えるような魅力ある徳高にしていきたいと思います。

佐藤一斎

安永元年(1772)に、美濃国、岩村藩の家老佐藤信由の次男として、江戸浜町の上屋敷(現東京都中央区日本橋浜町)で生まれた。江戸時代の儒学者。



3月の行事予定表

3月 1日(水)	水①②入試会場設営
3月 2日(木)	一般入学者選抜(1日目)
3月 3日(金)	一般入学者選抜(2日目)
3月 9日(木)	1時間目カット
3月10日(金)	クラスマッチ
3月14日(火)	高大連携授業(1・2時間目:広島修道大学, 進路講話(7時間目:1・2年生), 水曜校時
3月15日(水)	合格者発表・説明会, 火曜校時(LHR以外)
3月20日(月)	1時間目カット, 合格体験を聞く会(7時間目)
3月23日(木)	第二次入学者選抜
3月24日(金)	表彰式, 修了式, 離任式, 合格者発表・説明会(第二次)



鹿児島県立徳之島高等学校

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津784番地 Tel 0997(82)1850 Fax 0997(82)1851

http://www.edu.pref.kaogoshima.jp/sh/Tokunoshima/

